

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320245	X-21-B-1-320245			【1・2年次生】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1・3年次生】経営情報学部経営学科 【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科 【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門 専門 専門 × × × ×	選択必修 選択必修 選択 × × × ×	1年 1年 1年 × × × ×
授業科目	担当教員	1	前期				
韓国語 1cA	櫻澤 亜伊						

授業目的

日本社会においてアジアの言語を学ぶことは、異文化を理解し、多文化共生の理念を実現するための土台を作ることに繋がる。韓国は日本に最も近い国である。言葉も日本語と似た構造なので、日本語話者には習得しやすい外国语であると言える。この授業では、表音文字としてのハングルの構成と発音変化について正しく理解した後、リスニングと会話を中心に練習し、自然な発音に慣れるようにする。さらに、他の授業で学んだ単語や文法を活用し、韓国語をコミュニケーションツールとして活用できるようにする。

各回の授業内容

第1回	【授】 ガイダンス / 文字(3) - 合成母音 【前・後】 予習と復習に1時間：合成母音を覚るために、テキストやプリントの練習問題を解く	第9回	【授】 韓国映画鑑賞(1) 【前・後】 復習に1時間：映画を見ながら聞こえた単語をハングルに直す
第2回	【授】 文字(6) - 発音の変化 ・音変化 / 音音化 【前・後】 予習と復習に1時間：韓国語の発音の変化を理解し、テキストやプリントの単語を読みながら練習する	第10回	【授】 韓国映画鑑賞(2) 【前・後】 予習と復習に1時間：韓国文化と日本文化の違いを理解し、映画の鑑賞文を書く
第3回	【授】 文字まとめ 【前・後】 予習と復習に1時間：ハングル文字を完全に習得し、関連単語を覚える	第11回	【授】 第3課-1 학생 식당은 지하 2층에 있어요 ・聞く：場所/位置 ・話す：場所を尋ねる 【前・後】 予習と復習に1時間：音声を聞きながら表現を覚える
第4回	【授】 第1課-1 안녕하세요 ・聞く(聞く)：挨拶 ・話す：挨拶する 【前・後】 予習と復習に1時間：音声を聞きながら表現を覚える	第12回	【授】 第3課-2 이 근처에 병원이 있어요? ・聞く：場所/位置(2) ・話す：公共施設の位置を尋ねる 【前・後】 予習と復習に1時間：音声を聞きながら表現を覚える
第5回	【授】 第1課-2 저는 중국 사람입니다 ・聞く：自己紹介 ・話す：自己紹介する 【前・後】 予習と復習に1時間：音声を聞きながら表現を覚える	第13回	【授】 第4課-1 학교생활이 즐거워요 ・聞く：韓国の生活について ・話す：韓国の生活について話す 【前・後】 予習と復習に1時間：音声を聞きながら表現を覚える
第6回	【授】 第2課-1 이 사람은 누구예요? ・聞く：友達を紹介する会話 ・話す：友達を紹介する 【前・後】 予習と復習に1時間：音声を聞きながら表現を覚える	第14回	【授】 第4課-2 여기는 놀이 안 와요 ・聞く：天気に関する会話 ・話す：天気を聞いて答える 【前・後】 予習と復習に1時間：音声を聞きながら表現を覚える
第7回	【授】 第2課-2 그게 뭐예요? ・聞く：ものの名前 ・話す：ものの名前を聞いて答える 【前・後】 予習と復習に1時間：音声を聞きながら表現を覚える	第15回	【授】これまでの授業の総まとめ 【前・後】 予習と復習に1時間：これまでの授業内容を復習する
第8回	【授】 第1課、第2課のまとめ 【前・後】 予習と復習に1時間：2課までの表現を覚える	第16回	【授】 期末試験 【前・後】 期末試験の準備をする

成績評価方法

【成績評価】定期試験(50%)、小テスト・授業内レポート(30%)、宿題・授業外レポート(10%)、授業態度・授業への参加(10%) 第15回の授業に代わる課題については授業時間内に説明する。

【フィードバックの方法】小テストや宿題はチェックして返却するので、復習に活用すること。

上記15回(試験を除く)の授業のうち、1回を課題(レポート等)に代替する。詳細は授業中に指示する。

教科書・参考書

教科書 『慶熙韓国語初級1-聞く・話す』 国際教育院韓国語教育部、慶熙大学校出版局

参考書 『慶熙韓国語初級1-文法』 国際教育院韓国語教育部、慶熙大学校出版局

受講に当たっての留意事項

授業では、ペアワーク(グループワーク)でロールプレイなどを行うので積極的に参加すること。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施
○	通訳と翻訳の経験を有する教員が日本語と韓国語の共通点と差異を解説する。	○

学習到達目標

韓国語の文字(ハングル)と発音変化を理解し、初級レベルのリスニングと会話ができる。

JABEE

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320245	X-21-B-1-320245			【1・2年次生】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1・3年次生】経営情報学部経営学科 【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科 【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門 専門 専門 × × ×	選択必修 選択必修 選択 × × ×	1年 1年 1年 × × ×
授業科目	担当教員	1	前期				
韓国語 1cB	朴 貞美						

授業目的

日本社会においてアジアの言語を学ぶことは、異文化を理解し、多文化共生の理念を実現するための土台を作ることに繋がる。韓国は日本に最も近い国である。言葉も日本語と似た構造なので、日本語話者には習得しやすい外国语であると言える。この授業では、表音文字としてのハングルの構成と発音変化について正しく理解した後、リスニングと会話を中心に練習し、自然な発音に慣れるようにする。さらに、他の授業で学んだ単語や文法を活用し、韓国語をコミュニケーションツールとして活用できるようにする。

各回の授業内容

第1回	【授】 ガイダンス / 文字(3) - 合成母音 【前・後】 予習と復習に1時間：合成母音を覚るために、テキストやプリントの練習問題を解く	第9回	【授】 韓国映画鑑賞(1) 【前・後】 復習に1時間：映画を見ながら聞こえた単語をハングルに直す
第2回	【授】 文字(6) - 発音の変化 ・音変化 / 鼻音化 【前・後】 予習と復習に1時間：韓国語の発音の変化を理解し、テキストやプリントの単語を読みながら練習する	第10回	【授】 韓国映画鑑賞(2) 【前・後】 予習と復習に1時間：韓国文化と日本文化の違いを理解し、映画の鑑賞文を書く
第3回	【授】 文字まとめ 【前・後】 予習と復習に1時間：ハングル文字を完全に習得し、関連単語を覚える	第11回	【授】 第3課-1 학생 식당은 지하 2층에 있어요 ・聞く：場所/位置 ・話す：場所を尋ねる 【前・後】 予習と復習に1時間：音声を聞きながら表現を覚える
第4回	【授】 第1課-1 안녕하세요 ・聞く(聞く)：挨拶 ・話す：挨拶する 【前・後】 予習と復習に1時間：音声を聞きながら表現を覚える	第12回	【授】 第3課-2 이 근처에 병원이 있어요? ・聞く：場所/位置(2) ・話す：公共施設の位置を尋ねる 【前・後】 予習と復習に1時間：音声を聞きながら表現を覚える
第5回	【授】 第1課-2 저는 중국 사람입니다 ・聞く：自己紹介 ・話す：自己紹介する 【前・後】 予習と復習に1時間：音声を聞きながら表現を覚える	第13回	【授】 第4課-1 학교생활이 즐거워요 ・聞く：韓国の生活について ・話す：韓国の生活について話す 【前・後】 予習と復習に1時間：音声を聞きながら表現を覚える
第6回	【授】 第2課-1 이 사람은 누구예요? ・聞く：友達を紹介する会話 ・話す：友達を紹介する 【前・後】 予習と復習に1時間：音声を聞きながら表現を覚える	第14回	【授】 第4課-2 여기는 놀이 안 와요 ・聞く：天気に関する会話 ・話す：天気を聞いて答える 【前・後】 予習と復習に1時間：音声を聞きながら表現を覚える
第7回	【授】 第2課-2 그게 뭐예요? ・聞く：ものの名前 ・話す：ものの名前を聞いて答える 【前・後】 予習と復習に1時間：音声を聞きながら表現を覚える	第15回	【授】 第1課～第4課のまとめ 【前・後】 予習と復習に1時間：4課までの表現を覚える
第8回	【授】 第1課、第2課のまとめ 【前・後】 予習と復習に1時間：2課までの表現を覚える	第16回	【授】 期末試験 【前・後】 予習に2時間：期末試験の準備をする

成績評価方法

【評価方法】定期試験(40%)、小テスト・授業内レポート(30%)、宿題・授業外レポート(10%)、授業態度・授業への参加(10%)、成果発表(口頭・実技)(10%)

【フィードバックの方法】小テストや宿題はチェックして返却するので、復習に活用すること。

教科書・参考書

教科書 『慶熙韓国語初級1-聞く・話す』 国際教育院韓国語教育部、慶熙大学校出版局

参考書 『慶熙韓国語初級1-文法』 国際教育院韓国語教育部、慶熙大学校出版局

受講に当たっての留意事項

授業では、ペアワーク(グループワーク)でロールプレイなどを行うので積極的に取り組んでほしい。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施
○	語学学校(民間)での韓国語講師の経験を基に、日本人が特に苦手とする発音に注目し、自然な発音に導く。	○

学習到達目標

韓国語の文字(ハングル)と発音変化を理解し、初級レベルのリスニングと会話ができる。

JABEE

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習